

、下線…学校の授業以外の場での学習が可能と考えられる教材・学習活動

…感染症対策の観点から指導順序を変更することが考えられる教材・学習活動

1年

※年度末の学習内容が指導しきれなかった場合には、次年度に送ることも考えられる。

※上級学年に指導内容を送った場合には教員間でしっかりと引継ぎをすること

単元名・ページ数・学習目標	時	配分	学習活動	評価規準
みの まわりの もじを さがそう (表紙裏-P1) ○校内にある身近な文字に気づき、 文字による表現に関心を持つことができる。	適宜	適宜	○教室にある文字を探したり、学校生活 の中で文字を書く場面を探したり考えたり することで、文字に対する興味や関心を深 める。	【知識・技能】 身の回りに様々な文字や、文字を書く場面 があることを理解している。 【思考・判断・表現】 教科書で示した例以外に、身の回りに文字 がないか、考えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 文字探しを通して、文字による表現に興味 や関心をもとうとしている。
しせいと えんぴつの もちかた (P2-5) ◎【知識及び技能】(3)ウ(ア) ○文字を書くことに適した姿勢と鉛 筆の持ち方を理解することができる。	1	1 適宜	○教師の実演を見て、書字に適した姿勢と 鉛筆の持ち方を理解し、その型をとる。 ○教科書に示されている写真、絵を見たり しながら、書字に適した姿勢と鉛筆の持ち 方を理解し、その型をとる。 ○各学習において、適宜確かめる。	【知識・技能】 書字に適した姿勢や鉛筆の持ち方があるこ とを理解している。 【思考・判断・表現】 合い言葉や写真を見て、書字に適した姿勢 や鉛筆の持ち方を考えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 文字を丁寧に書くために、書字に適した姿 勢や鉛筆の持ち方を実践しようとしている。
一 えんぴつで かこう (P6-7) ◎【知識及び技能】(3)ウ(ア) ○様々な線をなぞり、姿勢や鉛筆の 持ち方と動かし方に慣れることができる。	1	1	○直線・曲線・折れ線など、運筆に直結す る線をなぞり、姿勢や鉛筆の持ち方と動か し方を確かめながら運筆に慣れる。	【知識・技能】 様々な運筆の方法があることを理解してい る。 【思考・判断・表現】 様々な線をなぞることで、適切な姿勢や運 筆を考えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 なぞり書きを通して、様々な運筆に慣れよう としている。
二 ひらがなを かこう(筆順) (P8-9) ◎【知識及び技能】(3)ウ(イ) ○書き出しの位置を理解し、筆順通 りに書くことができる。	2	2	○書き出しの位置に注意し、「つくし」「こと り」をなぞったり書いたりして、筆順につい て知る。 ○筆順に注意して、「さら」「かも」を書く。	【知識・技能】 文字には筆順があることを理解している。 【思考・判断・表現】 書き出しの位置を確かめて、どのような筆 順になるのか考えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 書き出しの位置に注意し、筆順を意識して 書こうとしている。
二 ひらがなを かこう(止め・はね・ 払い) (P10-11) ◎【知識及び技能】(3)ウ(イ) ○「止め」「はね」「払い」の書き方を 理解して、平仮名を書くことができる。	1	1	○「へ」「い」「う」をなぞったり書いたりして 「止め」「はね」「払い」の書き方を理解す る。 ○「止め」「はね」「払い」の書き方に注意し て、「か」「け」を書く。	【知識・技能】 「止め」「はね」「払い」という書き方があるこ とを理解している。 【思考・判断・表現】 それぞれの書き方の違いを考えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 書き方の違いを意識して、平仮名を書こうと している。
二 ひらがなを かこう(折れ・曲が り) (P12-13) ◎【知識及び技能】(3)ウ(イ) ○「折れ」「曲がり」の書き方を理解し て、平仮名を書くことができる。	2	2	○「く」「ん」「せ」をなぞったり書いたりして、 「折れ」「曲がり」の書き方を理解する。 ○「折れ」「曲がり」の書き方に注意して、 「え」「と」「わ」「を」を書く。	【知識・技能】 「折れ」「曲がり」という書き方があることを 理解している。 【思考・判断・表現】 それぞれの書き方の違いを考えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 書き方の違いを意識して、平仮名を書こうと している。
二 ひらがなを かこう(結び) (P14-15) ◎【知識及び技能】(3)ウ(イ) ○「結び」の書き方を理解して、平仮 名を書くことができる。	2	2	○「ま」「す」「み」「む」をなぞったり書いたり して、様々な形の「結び」の書き方を理解す る。 ○「結び」の書き方に注意して、「すな」「う み」を書く。	【知識・技能】 「結び」という書き方があることを理解してい る。 【思考・判断・表現】 三つの「結び」の書き方の違いを考えてい る。 【主体的に学習に取り組む態度】 書き方の違いを意識して、平仮名を書こう としている。
二 ひらがなを かこう(結び) (P16-17) ◎【知識及び技能】(3)ウ(イ) ○促音・拗音や濁点・半濁点の書く 位置や大きさを理解して書くことがで きる。	1	1	○促音・拗音を書く位置や文字の大きさを 理解して書く。 ○濁点・半濁点を書く位置とその大きさを理 解して書く。	【知識・技能】 促音・拗音や濁点・半濁点を書く位置に注 意する必要があることを理解している。 【思考・判断・表現】 促音・拗音や濁点・半濁点を書く位置はど こか、考えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 促音・拗音や濁点・半濁点の書く位置に注 意して書こうとしている。

単元名・ページ数・学習目標	時	配分	学習活動	評価規準
三 じの かたち (P18-19) ◎【知識及び技能】(3)ウ(イ) ○平仮名の外形を理解して書くことができる。	2	2	○「いかのおすし」をなぞったり書いたりして、様々な外形を理解する。 ○平仮名の外形に注意して、「ふな」を書く。	【知識・技能】 文字には外形があることを理解している。 【思考・判断・表現】 どの外形に合うように書けば文字が整うのか、考えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 外形を意識して平仮名を書こうとしている。
がくしゅうの すずめかた (P20-23) ○書字の課題を、自分で考えたり他者と話し合ったりして解決する書写学習の方法を理解することができる。	適宜	適宜	○書写学習の一連の流れを知り、自学自習や他者との意見交換を通して、効果的に学習する方法を理解する。	【知識・技能】 書写学習に適した学習方法があることを理解している。 【思考・判断・表現】 自分の課題がどのように学習することで解決できるのか考えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 日常生活でも整った文字を書けるように、「がくしゅうの すずめかた」を実践しようとしている。
四 かたかなを かこう (P24-25) ◎【知識及び技能】(3)ウ(イ) ○筆順に注意して、「止め」「はね」「払い」「折れ」「曲がり」「曲がり」の書き方を理解して、片仮名を書くことができる。	2	2	○筆順に注意し、「カモシカ」をなぞったり書いたりして、片仮名の「止め」「はね」「払い」「折れ」「曲がり」の書き方を理解する。 ○片仮名の書き方に注意して、「コーヒー」「カワセミ」を書く。	【知識・技能】 片仮名にも「筆順」「止め」「はね」「払い」「折れ」「曲がり」があることを理解している。 【思考・判断・表現】 平仮名で学習したことを活用して書いている。 【主体的に学習に取り組む態度】 それぞれの書き方に注意し、筆順通りに片仮名を書こうとしている。
五 かん字を かこう(止め・はね・払い) (P26-27) ◎【知識及び技能】(3)ウ(イ) ○「止め」「はね」「払い」の書き方を理解して、漢字を書くことができる。	2	2	○「十」「小」「人」をなぞったり書いたりして、「止め」「はね」「払い」の書き方を理解する。 ○「止め」「はね」「払い」の書き方に注意して、「王」「竹」「木」を書く。	【知識・技能】 漢字にも「止め」「はね」「払い」があることを理解している。 【思考・判断・表現】 それぞれの書き方の違いを考えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 書き方の違いを意識して、漢字を書こうとしている。
五 かん字を かこう(折れ・曲がり・反り) (P28-29) ◎【知識及び技能】(3)ウ(イ) ○「折れ」「曲がり」「反り」の書き方を理解して、漢字を書くことができる。	2	2	○「口」「七」「子」をなぞったり書いたりして、「折れ」「曲がり」「反り」の書き方を理解する。 ○「折れ」「曲がり」「反り」の書き方に注意して、「目」「九」「手」などを書く。	【知識・技能】 「折れ」「曲がり」のほかに「反り」という書き方があることを理解している。 【思考・判断・表現】 それぞれの書き方の違いを考えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 書き方の違いを意識して、漢字を書こうとしている。
五 かん字を かこう(筆順) (P30-31) ◎【知識及び技能】(3)ウ(イ) ○漢字の筆順の法則を理解して書くことができる。	2	2	○「三」「八」「左」などをなぞったり書いたりして、漢字の筆順の法則を理解する。 ○漢字の筆順の法則に注意して、「立」「竹」「九」などを書く。	【知識・技能】 漢字の筆順には、法則性があることを理解している。 【思考・判断・表現】 漢字ごとにどのような法則があるのか考えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 法則を意識して、筆順通りに漢字を書こうとしている。
六 かくの ながさと ほうこう(画の長さ) (P32-33) ◎【知識及び技能】(3)ウ(ウ) ○画の長さの違いに注意して、漢字を書くことができる。	2	2	○「王」「山」「夕」をなぞったり書いたりして、画の長さの違いに気をつけて書く必要があることを理解する。 ○画の長さの違いに注意して、「青年」「出口」「名人」を書く。	【知識・技能】 文字には画の長さの違いに注意する必要があることを理解している。 【思考・判断・表現】 どの画の長さに注意すればよいか考えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 画の長さの違いを意識して、漢字を書こうとしている。
六 かくの ながさと ほうこう(画の方向) (P34-35) ◎【知識及び技能】(3)ウ(ウ) ○点画の方向の違いに注意して、漢字を書くことができる。	2	2	○「貝」「千」「下」をなぞったり書いたりして、点画の方向の違いに気をつけて書く必要があることを理解する。 ○点画の方向の違いに注意して、「円」「入」「金」などを書く。	【知識・技能】 文字には点画の方向の違いに注意する必要があることを理解している。 【思考・判断・表現】 どの点画の方向に注意すればよいか考えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 点画の方向の違いを意識して、漢字を書こうとしている。
七 一年生の まとめ (P36-39) ◎【知識及び技能】(3)ウ(イ)(ウ) ○一年生で学習したことを振り返り、文字を書いて確かめることができる。	3	3	○「にじ」「ビル」「気」「きっぷ」などをなぞったり書いたりして、一年生で学習した平仮名、片仮名、漢字の書き方を確かめる。 ○一年生で学習したことに気をつけて、楽しかった思い出を書く。	【知識・技能】 一年生で学習したことを理解している。 【思考・判断・表現】 それぞれの文字が、何を意識して書けばよいのか考えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 一年生で学習したことを活用して書こうとしている。

単元名・ページ数・学習目標	時	配分	学習活動	評価規準
資料編 しよしゃの しりょうかん その一 たてがきと よこがき (P40-41) ◎【知識及び技能】(3)ウ(ア)(イ) (ウ) ○なぞり書きを通して、縦書きと横書きの書き方、数字の書き方を理解することができる。	適宜	適宜	○縦書きと横書きの文章の書き方を理解する。 ○縦書きと横書きとで、句読点や「」の書く位置、読点(コンマ)の書き方が変わることを理解する。 ○なぞり書きをして、算用数字の書き方を理解する。	【知識・技能】 縦書きと横書きとで、書く位置や書き方の違いがあることを理解している。 【思考・判断・表現】 縦書きと横書きにおける拗音・促音、濁点・半濁点、句読点の位置と読点(コンマ)の書き方の違いを考えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 縦書きと横書きの書き方の違いや数字の書き方を意識して、学習場面や日常生活で生かそうとしている。
その二 かきぞめを しょう (P42-43) ◎【知識及び技能】(3)ウ(ア)(イ) (ウ) ○一年生で学習したことを生かして、書き初めをすることができる。○鉛筆以外の筆記具の持ち方を理解することができる。	3	1 1 1	○一年生で学習したことにつけて、書き初めをする。 ○フェルトペンとサインペンの持ち方は、鉛筆と同じであることを理解して、新年の目標などの言葉の試し書きをし、自分の学習課題を確認する。 ○一年生で学習したことと自分の学習課題に気をつけて、新年の目標などの言葉を練習する。 ○一年生で学習したことと自分の学習課題を確認し、新年の目標などの言葉のまとめ書きをする。	【知識・技能】 「書き初め」という我が国の伝統文化があることを理解している。 【思考・判断・表現】 これまでに学習したことをどう活用すればよいのか考えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 これまでに学習したことを活用して、書き初めをしようとしている。
その三 かんさつカードを かこう (P44) ◎【知識及び技能】(3)ウ(ア)(イ) (ウ) ○観察カードなど、横罫の書式の書き方を理解して書くことができる。	適宜	適宜	○観察カードの例を見て、横罫の書式の書き方を理解する。 ○校外学習など、机がない場所での書字に適した姿勢と書き方を理解する。	【知識・技能】 横罫の書式の書き方や、机上以外でも安定して文字を書く方法があることを理解している。 【思考・判断・表現】 横書きの文章の書き方がどのように活用できるか考えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 他教科の授業でも積極的に活用しようとしている。
その四 ひらがなの ひょう (P45-46) ◎【知識及び技能】(3)ウ(ア)(イ) (ウ) ○平仮名の五十音を、筆順や書き方に注意して書くことができる。 ○濁点と半濁点、平仮名の拗音と促音の大きさと位置に注意して書くことができる。	適宜	適宜	○これまでに学習したことに注意して、平仮名を書く。 ○これまでに学習したことに注意して、平仮名の拗音・促音、濁点・半濁点を書く。	【知識・技能】 これまでに学習した平仮名の書き方を全て活用する必要があることを理解している。 【思考・判断・表現】 それぞれの平仮名に、どの書き方を活用するか考えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 学習場面や日常でも、それぞれの平仮名の書き方を意識して書こうとしている。
その五 かたかなの ひょう (P47-48) ◎【知識及び技能】(3)ウ(ア)(イ) (ウ) ○片仮名の五十音を、筆順や書き方に注意して書くことができる。 ○濁点と半濁点、片仮名の拗音と促音、長音の大きさと位置に注意して書くことができる。 ○形が似ている片仮名の違いを理解して書くことができる。	適宜	適宜	○これまでに学習したことに注意して、片仮名を書く。 ○これまでに学習したことに注意して、片仮名の拗音・促音、濁点・半濁点、音引きを書く。 ○なぞり書きをして、形が似ている片仮名の違いを理解する。	【知識・技能】 これまでに学習した片仮名の書き方を全て活用する必要があることを理解している。 【思考・判断・表現】 それぞれの片仮名に、どの書き方を活用するか考えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 学習場面や日常でも、それぞれの片仮名の書き方を意識して書こうとしている。
その六 水ふでを つかって みよう (P49) ◎【知識及び技能】(3)ウ(ア)(イ) (ウ) ○水書用筆を使って、点画の書き方の違いを理解することができる。	適宜	適宜	○水書用筆の持ち方と、硬筆では判断が難しい点画の違いがわかりやすいという特徴を理解して練習する。 ○水書用筆で鉛筆の持ち方を確認する。 ○水書用筆を使って、点画を正しく書く。	【知識・技能】 水書用筆で、点画の書き方を再確認している。 【思考・判断・表現】 硬筆では判断が難しい点画の違いがどこか考えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 水書用筆で学習した点画の違いを意識して、硬筆で書こうとしている。
その七 一年生で 学しゅうする かん字 (P50) ◎【知識及び技能】(3)ウ(ア)(イ) (ウ) ○一年生で学習する漢字を確かめることができる。	適宜	適宜	○これまでに学習した漢字の書き方に注意して、一年生で学習する漢字を書く。	【知識・技能】 これまでに学習した漢字の書き方を理解している。 【思考・判断・表現】 それぞれの漢字に、どの書き方を活用するか考えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 学習場面や日常でも、それぞれの漢字を意識して使おうとしている。